



# 祭典合唱団ニュース

# ひろしま

NO. 13  
2021年11月14日  
発責：実行委員会

## 「大地讃頌」

寺沢 希先生指揮

# 命削るほどのエネルギーで!

11月7日(日) 県民文化センター第一練習室で寺沢希先生が本番で指揮をされる「大地讃頌」のレッスンが行われました。ピアノ伴奏は田中香月先生。

まず一度歌いましょうと「大地讃頌」を通して歌うと「いいじゃないですか、帰ってもいいですか?」と笑いを誘い和やかにレッスンが始まりました。

この有名な合唱曲をコンサートでのセレモニーにしたい。作品は命を削って作られている。自分も命を削って指揮をしている。皆さんも命を削って歌って



寺沢 希先生

欲しいと楽曲への心構えがはじめに伝えられました。今回はオーケストラで伴奏が行われますから、ヴァイオリンが鳴って突然「母なる大地のふところに」とはじまります。言葉を意識してリズムとプレスに注意をしてください。特に子音の、例えば「に」ならNの子音のところで音をとって下さい。言葉を大事に「よ



寺沢希先生と三上和伸先生

ろこび」なら日本語の分からない外国人が聴いてもポジティブな言葉なのかネガティブなのか分かる歌い方をしましょう。「愛」はエロスではありませんね。アガペーです。(神が罪人たる人間に対して一方的に恩寵を与える行為としての

愛)。男声が一われら人の子の」と歌う音量に女声の「恩寵の豊かな大地」が消えないようにしたい。男声が推進力を女声は包み込むように。  
：全曲に渡って具体的に細かく指導がされました。

## 合唱団員 紹介コーナー

私も歌ってます  
よろしくお願いま〜す!

### 田子みゆきさん (S)



1980年代に広島市職労の仲間たちと職場合唱団「むらすずめ」でうたごえ活動をしました。全国の保育のうたごえ祭典を広島でも開催しました。「むらすずめ」としても2回東区民文化センターでコンサートを開きました。当時は労働組合の応援もあって、大会に合わせて構成劇などを作っていました。広島合唱団の団員でもありました。

日本のうたごえ祭典で忘れられないのは、1984年大阪の祭典が大阪城ホールであって、そこでの「大事件」です。青年のうたごえの一人としてピンクのTシャツで「フリーダム」という曲のダンスを歌い踊っている最中に、仮設のステージが出演者の重みとダンスの揺れに耐えられなくなって突然ドゥーッと崩れて落ちたのです。何が起こったのか驚きましたが、幸いけが人が出なくてよかったです。青春でした!

その後「むらすずめ」は団員の結婚、出産、子育てなどでだんだん活動が出来なくなってしまいました。私も3人の子どもを育て、3年前定年退職し、再任用で働き今年3月からは「自由」です。

今回は「祭典合唱団」の全ての曲に出たいと思っておりますが、「抱きしめよう」のレッスンを受けて池辺普一郎作品で難しいかな?と思ってましたが、何とかかなりそうとこれにもエントリーしました。



伴奏の田中香月先生



「大地讃頌」レッスン風景

# 「ひろしまへ」 全国の仲間への 呼びかけとして

一時間の昼休憩をはき  
んで午後は三上和伸先生  
の指導で「ひろしまへ」  
「こわしてはいけない」  
「抱きしめよう」の3曲  
のレッスンが行われまし  
た。

TFコーラスの川本咲  
枝さんの司会で「私たち  
は今とんでもなく大変で  
とんでもなく光栄な仕事  
をしていると思います。」  
と話され、練習が開始さ  
れました。



三上和伸先生

本番ステージまであと少し  
集中して練習に取り組みましょう  
健康に気を付けて、風邪などひかない  
ように「注意をお願いいたします。」

さあ、がんばっていきましょー！

のエントリー状況から、  
ほぼ地元広島祭典合唱  
団が歌うことになる公算  
が高くなっていることが  
話されてからのレッスン  
でした。歌詞にある「ひ  
ろしまへくるといい」と  
全国のみなさんに歌いか  
けられるようにしっかり  
練習して、本番を迎えたい  
と思います。

「こわしてはいけない」  
「抱きしめよう」は、音  
とリズムを楽譜に沿って  
正確に歌って、本番の池  
辺晋一郎先生の指揮に従っ  
てください、全て意識を  
持って歌ってください、と  
熱い指導がありました。

# 合唱曲「みるく世がやゆら」 西岡茂樹先生の指揮で 広島で初練習会

2021.11.7 @ アステールプラザ中音楽室

「みるく世がやゆら」と  
は、「今は平和でしよう  
か」と問いかける、沖縄  
の言葉です。

「みるく世」は「弥勒  
の世」のことで「平和な  
世界」を、意味します)

今から6年前、201  
5年6月23日、沖縄慰霊  
の日に当時高校3年生だっ  
た知念捷(ちねんまさる)  
さんによって読まれた  
「みるく世がやゆら」。  
その翌年萩京子さんに  
よる作曲で合唱曲となり、  
2016年8月、長野県  
八ヶ岳にて初演されまし  
た。



西岡茂樹先生

その後、この作品は  
「今、歌わなければなら

ない歌」「今どうしても  
歌いたい歌」として歌う  
人の心を動かし続け、多  
くの方のご尽力によって  
各地で歌い重ねられてき  
ました。

そして、今年12月、  
「みるく世がやゆら」は  
広島で、新たに演奏され  
ます。

2021年12月3日  
(金)「2021日本の  
うた(え)祭典 in 広島」  
ピースウェーブコンサー  
トにて。  
指揮は豊中混声合唱団  
の西岡茂樹さん、ピアノ  
は作曲家である萩京子さ  
ん。

その本番に向けて西岡  
さんの指導による広島で  
の練習会が行われました。  
広島県内はもとより、大  
阪・山口・福岡からも志  
ある合唱人約20名が集い  
ました。  
西岡さんはこの作品の

すばらしさと、演奏する  
ことの意義を深くとらえ  
て演奏する機会を積極的  
につくっておられる指揮  
者です。

「こは、問いかける  
ように」「場面を切りか  
えて」「おばあさんが笑  
顔でうたっていると」と  
と関西弁のイントネーショ  
ンでやわらかい語り口、  
しかし曲の本質をとらえ  
て的確な指導により参  
加者の気持ちや声がどん  
どん開かれ、濃厚なアン  
サンブルの兆しが見えて  
きました。

この「みるく世がやゆ  
ら」広島練習会は、Zoom  
にてオンライン配信され  
ました。東京・愛知・大  
阪・兵庫・山口、そして  
沖縄にも。  
当日広島に集い歌う仲  
間も、各地から画面を通  
して西岡さんの指導を受  
けました。

「こは、問いかける  
ように」「場面を切りか  
えて」「おばあさんが笑  
顔でうたっていると」と  
と関西弁のイントネーショ  
ンでやわらかい語り口、  
しかし曲の本質をとらえ  
て的確な指導により参  
加者の気持ちや声がどん  
どん開かれ、濃厚なアン  
サンブルの兆しが見えて  
きました。



11月7日  
練習風景

練習会終了後私の携帯  
電話にすぐにメールが届  
きました。沖縄で観てい  
た沖縄ヴェルディ合唱団  
の方からでした。

「久しぶりの『みるく  
世がやゆら』に初めは思  
い出しながらでしたが、  
充実した西岡先生のレッ  
スンに3時間があつとい  
う間でした。会場のみな  
さんお上手で本当に当日  
1回で合わすことができ  
るよう、頑張らなければ  
と思いました」。

西岡茂樹さんによるレッ  
スンは、広島に続けて、  
東京(11/14)愛知(11  
/18)と続きます。

12月3日(金)広島で  
「みるく世がやゆら」を  
歌います。80名近くの合  
唱人が志をもって集いま  
す。ぜひとも多くの方に  
聴いていただきたいです。  
よろしくお願いいたしま  
す。

(記) 宇城 昌里子(ちん)